

会 議 録

名 称	令和2年度第1回岸和田市地域公共交通協議会バリアフリー基本構想分科会									
開催日時 及び場所	令和2年7月3日（金）午後2時30分～午後4時00分 岸和田市立福祉総合センター 3階大会議室									
出席者 委員29名中 出席27名 (うち代理3名)	日野	鈴木	長谷川	西河	山田	日下	松下	中野	梅澤	芥子
	○	○	○	○	欠	欠	○	○	代理	○
	原(利)	勝藤	岸	奥野	原(博)	榊	岡田	大嶋	宇口	小林
	○	○	○	○	○	代理	○	○	○	○
	河畑	安野	羽室	川西	葛迫	伊勢	本田	崎谷	梶川	
	○	○	○	○	○	○	代理	○	○	
	オブザーバー 大阪府住宅まちづくり部建築指導室建築企画課福祉のまちづくりグループ 岩田主任専門員（欠席） 事務局（まちづくり推進部市街地整備課） 高橋課長、森下交通政策担当主幹、吉田主査、北出									
傍 聴 者	0名									
＜＜概要＞＞ ■案件 ① 全体事業計画と令和2年度分科会スケジュール ② 東岸和田駅周辺地区（WS 結果の報告と実施施策の整理） ③ 春木駅・久米田駅周辺地区（バリアフリー化の現状把握と生活関連施設・経路の設定）										
＜＜内容＞＞ ■岸和田市地域公共交通協議会バリアフリー基本構想分科会の会議録について （議長） 議長より本日の会議録署名人として西河委員を指名										
案件 ①全体事業計画と令和2年度分科会スケジュール （事務局） 資料2を用いて説明 ～委員からの質問～ （議長） 基本構想素案の作成に、本分科会での関わりを確認したい。 （事務局） 基本構想素案の作成にあたり、特定事業の位置付けを行うことが大きな役割になると考えている。関係事業者や行政機関と協議し、その位置付けを検討する。分科会で意見を頂戴し反映するが、2回の分科会で全て協議することは難しいため、分科会までに事前提示する内容及び第2回分科会でいただいた意見の反映方法について、今後検討する。 （議長） 了。委員は、ワークショップで現地点検をして、実際の状況を把握しながら課題に対する方針を考え、それを元に基本構想を作るという役割があるということを、再確認いただきたい。その中で、ハード面の整備に加え、どうやってコミュニケーションをとるか、どのようにお互い助け合うかということを考えていただきたい。多くのバリアフリー基本構想では「心のバリアフリー」という項目があるが、中身がほとんどない。具体的に、お互いが手伝いあえるような環境づくりや、システムづくりを記載したいので、みなさんからご提案をお願いしたい。 （議長） 事務局に確認だが、スケジュールは暫定か。新型コロナウイルス感染症の状況によって変更があるか。 （事務局） スケジュールの変更については、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら判断していきたい。										

(議長) アフターコロナの時に、車移動するようになった人が公共交通に戻ってくるか懸念される。戻ってきた時に、施設やシステムのバリアフリー化ができているような形になるとよい。他にご質問等が無いようであれば①全体事業計画と令和元年度分科会スケジュールについての議論を終えたい。

②東岸和田駅周辺地区（WS 結果の報告と実施施策の整理）

(事務局) 資料3を用いて説明

～委員からの質問～

(委員) 聴覚障害者は、耳からの情報が得られないことが一番困る。たとえば、電車遅延情報については、案内表示より放送が先である。文章で、目で見てわかる情報を同時に出してほしい。JR 東岸和田駅だけの問題でなく、全ての駅で対応してほしい。

(議長) 南海電気鉄道株式会社の状況はいかがか。

(委員) 全駅共通で表示規格をすぐに変えることは、コスト面から困難である。スマートフォンのアプリ「南海アプリ」を導入しており、電車の走行位置や、遅延の情報を発信している。また、Twitter や Facebook などの SNS でも情報を発信しているので、確認いただきたい。

(議長) 聴覚障害の方には、駅に案内表示が出ない場合はアプリ等で情報入手いただきたい。視覚障害の方は、音声案内が重要になるかと思う。最近は、スマートフォンで音声案内のアプリもあるので、それらを用いて少しずつ改善していただければと思う。

車内で緊急事態が発生した場合は、どうしても視覚情報が出せず、放送のみになってしまう。普段からアプリで情報を見ていただければ、駅のホームや車内でも対応できる。アプリの使用感についても、またご意見いただきたい。

(委員) 「南海アプリ」について、不具合や機能改修が必要な点もある。これからも改良を加えていく予定のため、ご意見も頂戴できればありがたい。

施設の改善については順次進めるが、時間がかかる。申し訳ないが、アプリの利用などもご検討いただきたい。

(委員) 視覚障害者や聴覚障害者は、情報をどこで仕入れたらいいのか。携帯電話やパソコンを使えない人もいる。情報を窓口なり、チラシ配布なりで伝えてもらいたい。

視覚障害者は、エレベータ内のボタンの位置さえも分からない。普段はガイドと一緒に歩くが、音声だけでない案内方法がないか。対策を検討いただきたい。

(議長) エレベータの中の点字は使っておられるか。

(委員) ボタンの位置がまず分からない。点字を使う前にボタンの位置が分からない。

(議長) エレベータだけでなく、券売機など、点字表示箇所までのアプローチをどうするのか課題である。エレベータでは、出口の場所は放送されているが、ボタンの位置は言っていない。これは課題をいただいたということにしたい。

また、今ご指摘いただいたパソコンやスマートフォンが使えない人への対応も必要である。もっと周りの人に聞けるような環境を作れたらと思う。ハード整備はすぐに対応は難しいようなので、すこしずつ意識を向上していけたらいいと思う。

(委員) 私は、鞆に「ヘルプマーク」というのを付けている。市役所に率先して「ヘルプマーク」を配っていただいて、健常者にも理解をしてもらいたい。人と人とのつながりは気持ちの問題だと思うので、理解してもらうための情報も、SNS 等で発信してもらい、「ヘルプマーク」という情報を広めてもらえば、視覚障害者、聴覚障害者、車いすの人たち、色々な人たちにも伝わる。「ヘルプマーク」をつけるという手段があるということを知っている人が少ないので、情報発信をお願いしたい。

(議長) 以前、聴覚障害者が障害をお持ちかどうかわかりにくいので、みんなで黄色いリボンをつけようという運動があった。一方で、マタニティマークを付けていたら嫌がらせをされるという問題もあって、本当の助け合いの意識を高めないといけないと思う。今のご指摘のように、統一の「ヘルプマーク」として、色分けせず1種類でもいいと思う。

(議長) 私から事務局へのお願いが、課題を事業者別で分けるのではなく、内容別、種類別にまとめて対策を検討したい。次回分科会までに、資料整理をお願いしたい。事業者だけでなく乗り物も駅も我々で一緒に考えていくものだと思うので、ぜひ今後は整理していただきたい。

(事務局) 了。

(議長)	グレーチングの話があったが、グレーチングの目が細かすぎると枯れ葉で埋まってしまうというような問題はないか。
(委員)	多少はあるが、詰まって水が溢れてしまうという事例は少ない。細目になる分、重量が増えるので、多少使い勝手が悪くなる面もあるが、サイズを分割するなど工夫して対応できている。
(議長)	なにかを変えようとするときには、良い面と悪い面がある。その点も考えていただきたい。現地調査で「こうした方がいいのではないか」ということもあると思うが、そうなった経緯を確認しながら、方針づくりを考えていただきたい。いろいろご意見をいただいたうえで、施設管理者の方にそれぞれの立場で精査をしていただきたい。 他にご質問等が無いようであれば②東岸和田駅周辺地区についての議論を終えたい。
③春木駅・久米田駅周辺地区（バリアフリー化の現状把握と生活関連施設・経路の設定）	
(事務局)	資料 4 を用いて説明
～委員からの質問～	
(議長)	現地調査で公園の中は入るか。
(事務局)	街歩きするルート関係は検討中である。
(議長)	前回はどうだったか。
(事務局)	前は、公園の前まで行って、公園内の照度確保についてご意見いただいた。
(議長)	災害避難のケースについても考慮すべきである。都市計画公園等は一次避難地になると思われるので、スケジュール上可能であれば公園もまち歩き点検の対象としていただきたい。重点整備地区の見直しについて、一律でバリアフリーを進めるのではなく、岸和田駅周辺、東岸和田駅周辺、春木・久米田駅周辺、それぞれの地区の特徴を活かせるようなバリアフリーを心がけていただきたい。いろんな人がいるなかで街の特徴を活かして、より重点的にサポートするということを考えていただき、地区のまちづくり方針がわかるような基本構想になるとよい。東岸和田駅周辺は防災街区がよく整備されて高齢者施設があり、一方で快速の停車駅で通勤の利用も多い。 私も他自治体において、いくつかバリアフリー化の検討に関わった中で、「キャッチフレーズを考えて下さい」からスタートしている事例もあり、「この街をどうしたいですか」、「それを実現するのにバリアフリーはどうあるべきだと思いますか」との問題意識を持った上で、その為のバリアをできるだけ外していくとことを計画してもらったことがある。可能であれば、そういうことも考えていただきたい。
(委員)	公園や駅前、大きなスーパーへの道の街灯が暗いという意見が気になる。朝だけでなく、夜も見てもらいたい。災害時も、朝移動と夜移動とでは課題が異なる。
(議長)	委員の多くは昼間の調査しか参加できないので、それぞれの校区の代表の委員からは夜間の情報を頂戴したい。管理の面でも防犯の面でも、管理者には色々お考えいただいていると思うが、改めて情報があればお願いしたい。
(委員)	中央公園の中の動線も、現地に行かれる際は確認していただきたい。防災上も、視覚・聴覚をはじめいろんな観点から動線をチェックいただけたら、今後の改善につながる。
(議長)	協議会でも、視覚障害・聴覚障害・車いす利用者・高齢者の方からもしっかり意見をいただいている。いろんな方からいろんなご意見をいただくことが重要だと思う。内部疾患の方やパニック症候群などの精神疾患の方への配慮も必要である。健常者でも不意に負傷することもある。当事者の立場に立ってできることを考えていきたい。 他にご質問等が無いようであれば③春木駅・久米田駅周辺地区については終えたい。ご意見があれば本日に限らず事務局まで連絡されたい。
④その他	
(事務局)	今後の作業については、本日いただいたご意見を踏まえ「バリアフリー基本構想策定」についても引続き必要な手続きを進めて参りたい。 次回の分科会は令和2年10月ごろに春木駅・久米田駅周辺地区の現地点検ワークショップを実施したいと考えている。日程が決まり次第、ご連絡するので、宜しくをお願いしたい。
(議長)	以上をもって、令和2年度第1回 岸和田市地域公共交通協議会バリアフリー基本構想分科会を閉会とする。

岸和田市地域公共交通協議会会議運営規程第 5 条の規定により

令和 2 年度（2020 年度）第 1 回岸和田市地域公共交通協議会バリアフリー基本構想分科会の
会議録をここに署名する。

議 長

署 名

会議録署名人

署 名